

## 個別施策

### ① 産学公連携による柔軟な仕組みづくり

科学技術都市の構築に当たっては、大学等から生み出される研究成果を効果的に次々と技術革新につなげていくことが必要であり、産学公連携が重要な手段となってくる。

京都地域においては、全国でも例のない地域が一体となった「京都産学公連携機構」が設立されたが、今後は、こうした取組を踏まえ、自然科学、人文・社会科学がそれぞれの専門分野を超えた、産学公連携の効果が一層高まるようネットワークづくりを進めていく。

また、(財)京都高度技術研究所における産学公連携の中核機関としての実績を踏まえ、引き続き地域の研究成果を生かした共同研究体制(コンソーシアム)の形成を支援し、国の制度をも活用した産学公連携による横断的な応用や融合を促進する。

更に、地域クラスターの形成に当たっては、「知」と「技」を結ぶコーディネータ機能の強化が重要であることから、(財)京都高度技術研究所や(財)京都市中小企業支援センターのほか、技術面を中心に大学と地域の中小企業との結節点となるよう京都市産業技術研究所の機能を整備するとともに、企業退職者の活用等によりコーディネータ間の連携を強化し、研究開発から事業化までの効果的な支援を実施するための仕組みづくりを検討する。

#### 用語解説

#### 京都産学公連携機構

京都市、京都府、京都商工会議所など、産学公のオール京都体制で、新事業や新産業の創出を支援し、京都経済の発展、活力ある地域づくりを実現することを目的として平成15年2月に設立された。産学公連携強化のための研究、提言及び要望や、情報発信等をはじめとする産学公連携事業を実施している。

## Column 縁むすびコーディネータ・マッチング

京都市では、平成17年度から(財)京都市中小企業支援センターを拠点に「縁むすびコーディネータ・マッチング」事業に取り組んでいます。これは、専門的な知識や豊富な経験・幅広い人脈を持つ企業OBを企業と企業を結び付ける仲人役(縁むすびコーディネータ)として委嘱し、市内ものづくり中小企業を訪問し、企業の技術力や相談・要望に合った新たな取引先や技術提携先企業等を紹介する事業です。

#### 成果事例

(A社) 外観検査装置開発・製造業

「部品加工の外注コストダウンが進まない。協力企業紹介を依頼」

#### 成果事例

(C社) 繊維製品製造業

「中国製に押される中、健康ブームに着眼し、天然染料を使った新商品を開発したい。」



コーディネータ・マッチング!



(B社) 分析機器組立加工業

「完成品外注を希望する新しい顧客を開拓し、経営の安定化と拡大を図りたい。」

(D社) 織物染業者

「新しい天然染料を開発・応用しアパレル以外へ進出したい。」

- ① A社からB社に発注。50%コストダウン
- ② B社はA社を新規取引先として獲得

- ① C社からD社へ1柄の発注が決定
- ② C社は、上記発注品による新商品開発へ

## ② 産学公連携による地域における特色ある取組の推進

京都の強みを生かした科学技術都市の構築に当たっては、前述のとおり伝統産業、統合医療、コンテンツ産業などの地域の特色ある取組を推進していく。

具体的には、地域にとって重要な知的・人的資源である大学と（財）京都高度技術研究所をはじめ、京都市産業技術研究所や（財）京都市中小企業支援センター等の各種支援機関との緊密な連携の下、伝統産業をはじめ地場産業等の技術的課題、新技術の創出、更にはこれらの産業と連携した人材育成の推進など、地域の特性を踏まえた効果的な施策を推進していく。

## ③ 産学公連携のための拠点整備の推進

科学技術都市の構築に向けて、産学公連携を促進させるための拠点づくりを引き続き推進する。

産学公連携拠点の核となる「桂イノベーションパーク」については、京都大学桂キャンパスに隣接する良好な立地条件を生かし、同大学をはじめ、大学の持つ技術シーズを産業界や社会へ円滑に移転させることのできる拠点として、引き続き整備する。

平成 18 年度には、(独) 中小企業基盤整備機構が「京大桂ベンチャープラザ（南館）」を開設させる予定であり、既に開設されている「研究成果活用プラザ京都」、「京大桂ベンチャープラザ（北館）」、更には分譲エリアへの進出企業と連携しながら、ナノテクノロジーをはじめ、ライフサイエンス、環境等に関する技術・製品開発の機能を高めていく。

(財) 京都高度技術研究所をはじめ多彩な支援機関が立地するほか、京都市産業技術研究所の立地的統合が予定されている「京都リサーチパーク地区」については、民間の知恵やノウハウも活用しながら、新事業を創造するための支援機能を一層高めていく。

大

### Column 桂イノベーションパーク

京都市では、京都大学桂キャンパスの隣接地を「桂イノベーションパーク」と位置付け、最先端の学術研究成果を産業界に橋渡しする新産業創出拠点として整備を進めています。平成 16 年度に開設した「研究成果活用プラザ京都」と「京大桂ベンチャープラザ（北館）」に加えて、平成 18 年度には、「京大桂ベンチャープラザ（南館）」が開所します。

また、分譲エリアにも企業の本社や研究所の進出が続々と決定しており、国施設と合わせて多くの企業が集まる中で、新産業の創出に向けた取組が始まっています。

【京大桂ベンチャープラザ（南館）の特徴】

- ➡ 企業の成長促進のため、事業化に直結する「試作」を支援
- ➡ 京都大学の協力を得て先端機器類を設置。地域の中小企業等へ機器を開放して、事業化を支援



高度集積地区については、南部創造のまちづくりの先導地区として中長期的視点に立って住民、企業等とのパートナーシップによるまちづくりを進めてきており、今後更に、平成20年2月にも予定されている京都高速道路油小路線の開通をはじめとする基盤整備の進展による立地利便性やこれまでの集積等を生かした企業立地の一層の促進を図るとともに、産業支援及び交流や連携の拠点の整備を進めるなど、地区内企業と大学、研究機関との連携強化に取り組む。

#### ④ 産業科学技術への主体的な市民・企業参画の促進

科学技術都市の構築に当たっては、産業科学技術に関する市民及び企業からの支持と理解を得ることが不可欠であり、市民及び企業からの積極的な参加が重要となる。

そのためには、産業科学技術に関する意見聴取や施策推進に当たっての意見を反映する外部評価など主体的な参画を促す取組を進める一方、市民及び企業に対する説明責任を的確に果たすという観点から、産業科学技術の成果を積極的に分かりやすく説明することが必要となる。また、こうした取組が地域としての産業科学技術振興への高まりを引き起こすといった好循環を生み出す結果となる。

### Column ナノメディシン拠点形成の基盤技術の開発

— 京都市地域結集型共同研究事業 —

京都市では、急速に進む長寿社会において、病気の早期発見・早期治療を図るため、産学連携の下、病気の予防から検査、治療までの医療の過程に、ナノテクノロジーを活用した新しい医療技術の研究開発に取り組んでいます。

#### 研究テーマⅠ ナノデバイスによる医療用検査システムデバイスの開発

病気の早期発見・早期治療を図るため、わずかな量の血液から瞬時に様々な病気の徴候を読み取れる、腕時計のように持ち運び可能な計測装置（デバイス）を開発しています。採血も、血液検査も、そして通信機能を搭載して病院とのやり取りもでき、更には治療薬まで投与する、まさに「身に付ける病院」の実現を目指しています。



#### 研究テーマⅡ ナノテク材料による医療用イメージングとターゲティング技術の開発

癌（がん）を患った細胞は、正常な細胞と比べ特異的な特徴を持ちます。これらの特徴をとらえ、その細胞（患部）にだけ集まるナノ材料を開発しています。これにより、極めて早い段階から患部を的確に把握・画像化（イメージング＝患部の可視化）でき、更に治療薬を運ぶ機能（ターゲティング）を持たせることで、身体への負担も軽い中で治療効果を飛躍的に高めることが期待されます。

